学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	木工	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成のプリント・木工の関する書籍						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

椅子の制作を中心に、木工についての基本的な知識・技術を学び、素材の特質や木工表現のよさなどを生かした表現を考えます。
取り扱いに注意が必要な道具や機械を使用する場面もあるので、危険性を理解し、安全に制作できるよう心がけてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
木材の材料特性及び適切な加工法、構造を理解し、用途に応じた構想を考え、創意工夫した表現ができる力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
用途や機能と美しさの調和を考え、素材の特質や表現方法を生かしながら発想や構想を練ったり、木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
木工に関する基礎基本を積極的・主体的に身に付け、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	●木材の材料特性を理解し、適切な加工法、構造を理解している。 ●ほぞ組技法、塗装技法など、木工の基本技法を学び、必要な技能を身に付けている。	●用途や機能と美しさの調和を考え、素材の特質や表現方法を生かしながら発想や構想を練ったり、木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ●木材・木工についての基本知識・基本技能を基に、それらを生かした制作方法や手順を考え、意図に応じて表現している。	●木工の課題に関心を持ち自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ●課題に対して、計画立てて制作に取り組むとともに、安全管理を意識して活動している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	椅子①	●ほぞ組技法を用いた椅子の制作 ・木材について(講座) ・椅子について(講座) ・アイデアスケッチ ・図面作成 ・木取り (・墨付け・ほぞ／ほぞ穴加工)	a:ほぞ組技法について理解し、図面を引くことができる。 木材の特性を生かし、適切に道具を使用して制作している。 b:図面を基に木取りや墨付けを行い、意図に応じて表現している。 c:計画立てて課題に取り組むとともに、安全管理を意識して活動しようとしている。 主体的に木工への興味や関心を深め、表現へ生かそうとしている。	・図面 ・作品	・図面 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・作品
2	椅子②	●ほぞ組技法を用いた椅子の制作 ・墨付け ・ほぞ／ほぞ穴加工 ・仮組み調整 (面取り・水拭き・木地調整、組み立て、やすりがけ)	a: 木材の特性を生かし、適切に道具を使用して制作している。 b:用途や機能と美しさの調和を考え、素材の特質や表現方法を生かしながら意図に応じて表現している。 c: 3学期への見通しを立て、完成までに必要な手順や時間を考え、計画立てて課題に取り組むとともに、安全管理を意識して活動しようとしている。 主体的に木工への興味や関心を深め、表現へ生かそうとしている。	・図面 ・作品	・図面 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・作品
3	椅子②	●ほぞ組技法を用いた椅子の制作 (面取り・水拭き・木地調整・組み立て・やすりがけ) ・座面加工 ・下穴加工 ・座面取り付け(ダボうちこみ) ・塗装 ・鑑賞、鑑賞レポートの作成	a: 木材の特性を生かし、適切に道具を使用して制作している。 b: 用途や機能と美しさの調和を考え、素材の特質や表現方法を生かしながら意図に応じて表現している。 c: 計画立てて課題に取り組むとともに、安全管理を意識して活動しようとしている。 主体的に木工への興味や関心を深め、表現へ生かそうとしている。	・作品	・作品	・ワークシート ・授業観察 ・作品 ・鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度